

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

事業名	2107	耕作放棄地再生利用緊急対策事業	区分	コード	名称
基本	42	持続的で個性的な農林業を実践する	会計	01	一般会計
策	4	農村生活環境の向上	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	03	農業振興費
			細目	101	農業振興経費
			細々目		耕作放棄地再生利用緊急対策事業
基本計画該当頁		160	行革大綱の重点事項番号		
担当部課	コード	160100	評価者	22 - 9666	
名称	産業振興部農林振興課		氏名	上田 賢博	連絡先 (内線) 2711

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	農業上重要な地域を中心に耕作放棄地の解消をするために耕作放棄地の再生・利用をしようとする地区の周辺農業者等引受手	農業上重要な地域を中心に耕作放棄地の解消及び農地の確保及びその有効利用を図り、食料自給率を上げる。
(※対象件数)		
根拠法令・要綱等 耕作放棄地再生利用緊急対策実施要綱		
開始年度 平成 21 年度 関連事業 ※耕作放棄地再生利用交付金事業、耕作放棄地再生利用推進交付金事業		
終了年度 平成 25 年度		
事業内容	内容	状況変化等
	昨年度の耕作放棄地全体調査の実施を受けて、本年度からモデル的に実証する。 1 耕作放棄地の再生・利用 (1)再生作業(障害物除去、深耕、整地等) (2)土壌改良(肥料、有機質資材の投入、緑肥作物の栽培等) (3)営農定着(営農資機材等の調達、導入作物の絞込み、適正確認等)等 2 設備等補完整備に対する支援	耕作放棄地の解消を図り農地の確保を行う。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託							再生利用交付金		1,000	再生利用交付金		1,500	再生利用交付金		2,000			2,500	
工事																			
進捗率(%)																			
事業投入人員		人件費(B)	人	0	人件費(B)	人	0	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440
トータルコスト(A)+(B)			0	0		0	0		2,440		2,940		3,440		3,940				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	0	0	1,000	1,500	2,000	2,500
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金			0	0	0	0
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	0	0	1,000	1,500	2,000	2,500
計	0	0	1,000	1,500	2,000	2,500
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・地方債の区分と充当率等					

事業種別	新規	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値		
		H19	H20	H21	H22	
耕作放棄地解消地区数	地区	目標			6	8
		実績				
		目標				
		実績				

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値		
			H19	H20	H21	H22	
耕作放棄地解消面積	解消面積を指標とする	a	目標			150	200
			実績				
			目標				
			実績				

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	世界の食料需要のひっ迫傾向、国の農地面積の減少等、日本の食糧自給率は39%と主要先進国の中で最低水準になっており、自給率を上げるためには、農業生産の基盤である農地の確保及びその有効活用を図っていくことが必要。
有効性	4	食料の安定供給に向けて限りある農地を有効に利用するための一助になっている。
達成度		
効率性	3	各集落において、段階的に耕作放棄地の解消に取り組めるよう、特定地区でモデル的に耕作放棄地の再生。利用の実証をする。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		